

平成31年2月14日

市政記者クラブ 様

名東区保健福祉センター福祉課
担当 藤本・丸山
TEL 778-3009

訪問看護普及啓発事業

「訪問看護はどんな時に利用できる？」(講演会) を開催します

区民の方に在宅療養を支える訪問看護師の存在と役割を知っていただくとともに、アドバンス・ケア・プランニングを知っていただく講演会を実施します。

1 事業内容【別添チラシ】

(1) 日時：平成31年2月19日(火) 午後2時から4時

(2) 場所：名東区役所 講堂

(3) 内容

●第1部 訪問看護を知っていますか？

訪問看護師による訪問看護についてのお話し(クイズ形式)

●第2部 講演「アドバンス・ケア・プランニングで終活を」

～もしバナゲームで、もしもの時の話し合いしてみませんか？～

講師：西川 満則 先生

国立長寿医療研究センター

在宅医療・地域連携診療部/地域医療連携室長

緩和ケア診療部/エンド・オブ・ライフケアチーム医師

(4) 主催 一般社団法人 愛知県訪問看護ステーション協議会

名東区訪問看護ステーション連絡会

名東区地域包括ケア推進会議

2 「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」「もしバナゲーム」について(参考)

・アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

終末期の患者の医慮やケアの方針を、患者が意思決定できなくなる前に、家族や医療者らと何度も話し合うことをという。

・もしバナゲーム

もともと米国で作られたゲーム。「家族と一緒に過ごす」「信頼できる主治医がいる」など書かれた35枚のカードを用い、4人程度でゲームを行う。終末期について今大事に思っていることを確認でき、もしもの時の思考訓練にもなる。